

# 身近な問題に関する質問が次々と

中学生が議会を体験し、その役割や仕組みを学習し、市政に対する関心を深めてもらうことを目的に、第2回中学生議会が10月18日、市議会議場で開催されました。市内中学校の代表30人が、中学生の目線で地域の問題から市の将来に関するさまざまな事柄を質問しました。



傍聴席に市議会議員や引率の先生が見守る中で中学生議会が開会

議長を務めた渡邊真幸君(左)と野川智彦君(右)



## 堂々とした姿勢で質問

「中学生議会」は定例市議会に準じ、市長をはじめ教育長を含む市の執行部全員が出席。傍聴席で市議会議員や引率の先生が見守る中、議長に指名された吾妻中の渡邊真幸君、玉造中の野川智彦君両名の進行のもと、中学生議員のさまざまな質問に市長や教育長などが答弁を行いました。

各議員からの質問は別表のとおりですが、どれも口ごころから中学生が感じている地域や生活に密着したものがかり。今回はそのうち主な質問とそれに対する市長あるいは教育長の答弁を紹介しします。

## 成田新高速鉄道の土屋駅開設について



米田若奈議員  
(成田中)

ここで平成22年に開業する成田新高速鉄道において、土屋駅を開設して新たな成田の玄関として鉄道路路の混雑の緩和に役立てていただきたいです。

土屋地区は区画整理によって、大型スーパーや映画館、各種商業施設ができ、周囲からも大変注目を浴びています。これらをさらに発展させるためにもぜひ土屋駅を開設して、新しい成田市の発展の中心としていただきたいです。

3月には下総町・大柴町と合併し新成田市が誕生します。今後の成田のさらなる発展の中心として、土屋駅開設の現状と今後の見通しについて質問します。

成田山を中心とした田緒ある観光都市成田をアピールして発展させるにしても、道路を広げたり駅前周辺を広げたりということにはもはや限界があると思います。そ

**市長** 成田新高速鉄道は、京成高砂駅から北総線印旛日本医大駅までの区間を、時速130kmで走行し、印旛日本医大駅から土屋地区



市長や教育長の答弁を熱心にメモする

中学生議員からの質問一覧（質問順）

議員名	質問要旨	学校名
1 鈴木遼平	通学路や歩道の整備について	豊住中
2 吉田李子	一般の人でも気軽に使える運動施設を	
3 小林弘典	ごみ問題について	
4 菱川彩香	お年寄りとの関わりについて	西 中
5 神山比呂紀	支援活動や募金活動について	
6 上村裕紀 鈴木詩織	交通事故を減らすには	久住中
7 衣斐友美	中台体育館について	中台中
8 横座佑実	外国人との交流について	
9 池田昌弘	夜遅くの暴走族による騒音について	玉造中
10 伊藤春花	保健福祉館の利用について	
11 堀内絵梨子	ごみの堆肥化について	遠山中
12 井之浦綾香	部活動の活性化について	
13 米田若奈	成田新高速鉄道の土屋駅開設について	成田中
14 飯塚優亮	教育環境について	
15 上村早紀	市民のための施設について	吾妻中
16 大山雄也	学校間での生徒数のバランスについて	
17 青木百合	過疎地区の意見導入について	成田付属中
18 須田健太	放置自転車の防止を	

## 外国人との交流について



横座佑実議員（中台中）

現在、成田市には空港や成田山のような有名な観光地があり、他の地域と比べて外国の人々との交流が盛んであると思われると思います。

実際、わたしの通う中学校では、ALTの先生を招いて一緒に授業を受けたり、学校生活を送ったりして、日本と外国の

文化の違いなどさまざまなことを学ぶことができます。授業の雰囲気もとても明るく皆英語の授業が大好きです。しかし、この恵まれた英語の学習環境を、わたしたちは生活の中で十分に生かすことができていないのでしょうか。よく考えてみると、学校の外で外国の文化と触れ合う機会が意外に少ないことに気がきます。サンプルノ市から生徒がホームステイに来たり、成田の生徒がスポーツを通じ交流を行ったり、いろいろな国との国際交流を行ってききました。けれど、もっと身近なところで外国の文化と触れ合うような場が見当たりにませぬ。そこで、わたしは外国の文化や人々と気軽に交流することができ

の北側の高架橋までは、新たに時速160kmで走行できる鉄道を建設します。また、既に建設されている高架橋の中の空いている部分に、新しく線路を敷き、都心と成田空港を36分で結ぶことを最大の目的として建設される鉄道で、今年度着工し、平成22年度の開業を目標に事業が進められています。この鉄道が開業されると、成田空港へのア

クス向上をはじめ、沿線地域の住民の利便性の向上や、周辺地域の発展が促進されるなどの効果が期待されています。この成田新高速鉄道の整備計画の策定にあたっては、成田市では以前から土屋地区にも駅が設置されることを強く要望しております。しかし、現状では土屋駅は残念ながら計画に含まれず、成田ニュータウンの北側に(仮)成田ニュータ

ウン北駅のみが計画されています。しかし、土屋地区に駅が設置されることになれば、米田議員のおっしゃるように、将来の成田市の発展や、市民の皆さんの利便性の向上に大いに役立つものと考えております。そのため、土屋駅を設置するための方法を、現在、千葉県と成田市で協議を行っているところ

また、この協議と並行して鉄道事業者にも、土屋駅の必要性を理解し協力していただけるようお願ひしております。また、結論は出ておらず、具体的な計画はありませんが、将来の成田市の発展や市民の皆さんの利便性の向上のため、土屋駅が実現するよう、今後も取り組んでまいります。



休憩中、質問原稿のチェックと読み合わせを

る機会をもっと増やしたらいいと思うのです。将来的に、この成田市は日本の社会の発展に伴ってどんどん国際化していかななくてはならない都市です。その国際化の第一歩として外国との交流の機会を増やし、お互いの文化の違いを理解していくことは、成田市にとって大事なことです。こうしたことがやがて国と国との関係をよくしていくのだと思います。

外国の文化や人々と気軽に交流ができるような機会を増やすためのプランをぜひ考えてください。

**市長** 日本の空の表玄関・成田国際空港を擁する国際都市として、多くの外国人がここ成田を訪れています。そのため、外国人の方々に温かく親切にお迎えし、良い印象をもっていただけるように、また、市民と在住外国人が互いに理解し合い、ともに暮らしていただけるまちをつくるため、成田市国際交流協会と連携して、さまざまな交流活動を展開しています。

国際交流協会では、成田市の友好都市であるアメリカのサンフランシスコ市、中国の咸陽市、韓国の仁川広域市中区、井原市、デンマークのネストベズ市との交流のなかで、中学生のホームステイ体験を含めた多くの友好交流を進めてい

ます。そのほかにも、成田を訪れる外国人に対して、空港での出迎えサービスや、成田山などの観光地の案内をするガイドなど、市民の皆さんが行う国際交流活動に対して協力をしています。

また、市民と外国人の皆さんがともに楽しめるイベントとして、ハロウィンパーティーですとか、中国の旧正月に春節を祝つ会などの異文化交流事業を開催し、国際空港都市成田の地域性を生かした活動が行われています。



大山雄也議員 (吾妻中)

## 学校間での生徒数のバランスについて

現在、わたしたち吾妻中学校の

生徒数は234人です。1年生と3年生は2クラスで、2年生は3クラスです。3年前までは全学年が3クラスでした。少子化の問題があり、学区の様子からは増加することは考えにくく、これから生徒数はどんどん少なくなっていく

今後もし引き続き、より多くの市民の皆さんが外国人と身近に触れ合うことができるプランを考え、成田市が国際化時代をリードする都市となる努力をしていきます。

また、中学生の皆さんが気軽に参加できるような機会についても今後検討を行い、増やしていきたいと考えております。その際には、皆さんの若い力とアイデアを生かして、積極的な参画をお願いいたします。

と思います。

そうした影響で、体育祭の色別が今まで3色だったのが、今年度は2色になってしまいました。毎年盛り上がる応援合戦や、色別対抗リレーなどで、今までのような活気がなくなってきています。

また、わたしたちにとって一番残念に思っているのが部活動の縮小化です。今年でサッカー部女子バスケトボール部が廃部になってしまいました。来年度はサッカーをやりたい生徒や、バスケトをやりたい生徒は他校と一緒に

活動したり、社会体育のチームに入ったりして休日に活動することになります。ほかの部活も少ない人数で頑張っていますが、練習メニューにも限界があります。市内には生徒数が多く規模が大きい学校もあり、そうした学校の部活動は部の種類も確保され、多人数で活動しているところもあります。

こうした学校間での生徒数のバランスの不均衡は、学区の広さにも関係があると思います。そこで、将来、学区の変更や学校の統合も含めた再編成の計画があるのか質問したいと思います。わたしたちは、ぜひ母校がいつまでも残ることを願っています。

**教育長** 市では、市全体の学校の適正な配置方針の基礎資料を平成15年3月に作成しています。その中で、単に現在の学校規模だけでなく、学校を取り巻くさまざまな課題や、児童生徒数のより詳細な予測などを踏まえ、将来に向けて学校の良好な教育環境を維持していくという中・長期的な視点に立って、バランスのよい配置構想をつくり、その上で、それぞれの学校が置かれている状況に応じて、早急に取り組むべき学校と、ある程度時間をかけて検討を行う



終了後、地元のテレビ局から  
インタビューを受ける



## 中学生議会を終えて



小林市長

さまざまな角度から感じるままにのびのびと質問していました。質問を作る際にも先生方を含めまして大変ご苦勞されたことと思います。

内容として感じることは、一つは皆さんが関わり合いのある成田市の施設についての問題です。施設づくりについては、いろいろな意見を聞きながら計画的に行わなければなりません。

また、皆さんがそれぞれの地域を歩いて、ポイ捨てとかゴミの処理の問題とか交通安全の意識のなさといったことを感じているという意見がありました。これについては、行政や関係機関でも努力はしております。しかし、最終的には一人ひとりのモラル、意識の向上が必要だと思えます。

成田全体の関係では、外国人との交流やお年寄りとの交流という点も質問にありました。この点についても、たいへん大事なことと感じております。

成田市は、現在はまだまだ発展の途上にあり、これから立派に飛躍していきます。それは、空港の完全化や新高速鉄道の問題などです。つまり、空港が完全化し、それに伴って周辺の整備が進めば、本当に誇れる成田市になると思います。これからの社会は、若い皆さんが積極的に進んでいくことによって、地域社会やこれからの世の中を形成していくものと思えます。皆さんからの質問を生かしながら、わたしたちも努力していきますので、ぜひ、皆さんもより一層、成田についていろいろ考えて、意見をいただければと思います。

来年3月には下総町、大栄町と合併し、新たに2校が加わり市内の中学校は11校になります。新生成田として皆さんも交流を図っていただきたいと思います。

最後に、これからも学業に部活動に頑張っ、これからの中学校生活を精一杯過ごしていただきたいと思います。

ものを区別し、段階的に検討を進めてまいります。

このような中、早急に取り組むべき学校として、児童数の増加が予測される平成小学校と成田小学校について、学校を分離し、新たに公津の杜小学校と美郷台小学校の建設事業を進めています。

また、学校規模が小規模または将来に小規模となる見込みの学校は、周辺の学校も含めた児童生徒数の将来予測をもとに、通学面での負担や地域の特性などに配慮して、通学区域の変更や学校の統合・分離などの検討を行いながら、順次取り込むこととしています。

大山議員の吾妻中学校区におい

ては、現在、公津西土地区画整理事業が行われており、この区域が吾妻中学校区となっていることから、平成18年4月以降に多少ではあります、住宅の建設により、生徒数の増加が期待できます。

なお、中学校では校長先生を中心として、授業や部活動など、さまざまな工夫をされており、現在の教育活動の中では条件が限られておりますが、生徒の皆さんにはこの現状の中でしっかりと頑張っ、てほしいと思います。

中学生議会についてくわしくは  
市民支援課市民相談室 ☎20  
507へ。



### 出席した中学生議員(敬称略)

豊住中学校...鳴田健志・鈴木遼平・吉田李子  
西中学校...湯脇昇平・小林弘典・菱川彩香・大竹晴佳  
久住中学校...神山比呂紀・上村裕紀・鈴木詩織  
中台中学校...衣斐友美・横座佑実・湯浅英貴  
玉造中学校...野川智彦・池田昌弘・常藤繭子・伊藤春花  
遠山中学校...堀内絵梨子・杉森郷美・井之浦綾香  
成田中学校...蓑田辰哉・飯塚優亮・米田若奈  
吾妻中学校...渡邊真幸・大山雄也・上村早紀・今関菜  
成田高等学校付属中学校...青木百合・兼松太郎・須田健太